

地震 震度とゆれの状況

震度とはある場所における地震の揺れの強弱の程度を表したものです。マグニチュードは、地震そのものの大きさ、つまり地震の規模(エネルギー)を表します。

0 [震度0]
人は揺れを感じない。



1 [震度1]
屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。



2 [震度2]
屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。



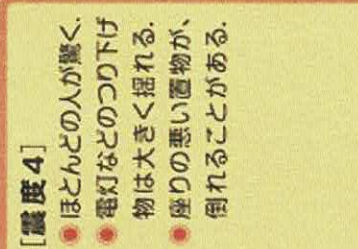
3 [震度3]
屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。



4 [震度4]
● ほとんどの人が驚く。
● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。
● 座りの悪い置物が、倒れることがある。



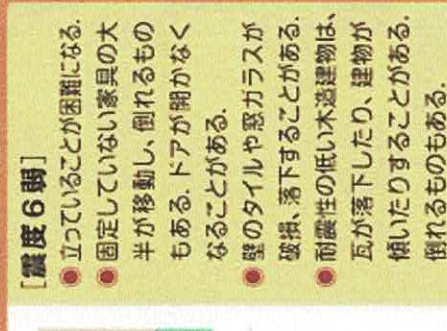
5弱 [震度5弱]
● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。
● 棚にある食器類や本が落ちることがある。
● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。



6弱 [震度6弱]
● 立っていることが困難になる。
● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。



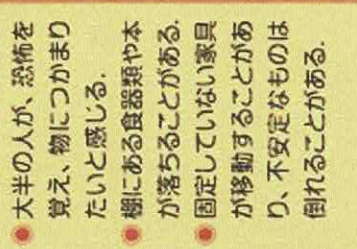
6強 [震度6強]
● はわれないと動くことができず、飛はされることもある。
● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の前壊が発生することがある。



5強 [震度5強]
● 物につかまらないうち歩くことが難しい。
● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
● 固定していない家具が倒れることがある。
● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



6強 [震度6強]
● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の前壊が発生することがある。



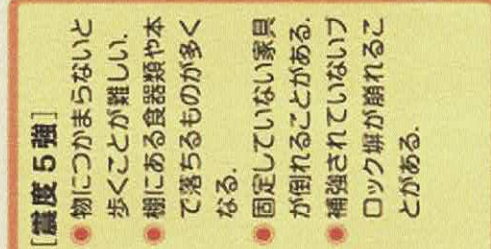
7 [震度7]
● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。



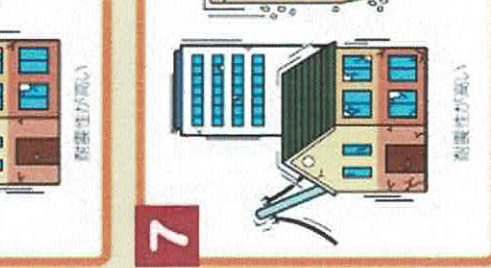
5強 [震度5強]
● 物につかまらないうち歩くことが難しい。
● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。
● 固定していない家具が倒れることがある。
● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。



6強 [震度6強]
● はわれないと動くことができず、飛はされることもある。
● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の前壊が発生することがある。



7 [震度7]
● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。
● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。



地震は突然やってきます。住居の耐震化、家具の固定、家の周囲の安全対策等が大変重要です。全体の耐震化が難しい場合は、寝室や居間など家の一部の耐震化や家具のより安全な場所への配置替えから始めましょう。

台風 風の強さと吹き方



風速は10分間の平均速度、瞬間風速は3秒間の平均で、瞬間風速は平均速度の1.5倍から3倍以上になることがあります。また、風の強さや吹き方は、地形や周りの建物などに影響されます。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述しているのです。これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまったりする場合があります。

風速 (m/s)	風の強さ (予報用語)	早さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその風速 (m/s)
10~15 ~約50km/h	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩かなくなると傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	道路の吹き流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
15~20 ~約70km/h	強い風		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はさきわめて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺き材がはかれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。	30
20~25 ~約90km/h	非常に強い風	高速道路の自動車	何かにつかまっていられないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	通常の速度で運転するのが困難になる。	屋根瓦・屋根葺き材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。	40
30~35 ~約110km/h			屋外での行動は極めて危険。		走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺き材がめくれ根の養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
35~40 ~約125km/h	猛烈な風	特急電車		多くの樹木が倒れる。電柱や街頭で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。		外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。	60
40~ ~約140km/h						住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	

大雨 雨の強さと降り方

降雨量とは、「降った雨がどこにも流れ去らずにそのまままたまた降った場合の水の深さ」です。当然、そのままたまるわけではなく、側溝や川に集まりますし、岩手・府中・垂井・宮代の雨は相川や泥川や表佐地区内を流れていきます。

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受ける イメージ	人への影響	屋内(木造住宅 を想定)	屋外の様子※	車に乗っていて
10～ 20	やや 強い雨	ザーザーと 降る	地面からの跳ね 返りで足下がぬ れる。	 雨の音で話し声 がよく聞き取れ ない。	 地面一面に水た まりができる。	 ワイパーを速くし ても見づらい。
20～ 30	強い雨	どしゃ降り	 傘をさしていて もぬれる。	 寝ている人の半 数くらいが雨に 気がつく。	 道路が川のよう になる。	 高速走行時、車 輪と路面の間に 水膜が生じ、ブレ ーキがきかなく なる(ハイドロプ レーニング現象)。
30～ 50	激しい雨	バケツを ひっくり返し たように降る	 傘は全く役に立 たなくなる。			
50～ 80	非常に 激しい雨	滝のように降 る(ゴーゴーと 降り続く)			 水しぶきであた り一面が白っぽ くなり、視界が悪 くなる。	 車の運転は危 険。
80～	猛烈な雨	息苦しくな るような庄 迫感がある。 恐怖を感ず る				

※「屋外の様子」は、表佐地区区内でも標高や側溝の配置など場所によって様子が異なります。